安全データシート



キット 製品名 キット カタログ番号 AVIDIN/BIOTIN BLOCKING REAGENT

BUF016

改訂日 2022-04-14

華	1		
栫笛	ЫV	而	
II i = 7			

カタログ番号	製品名
	BUF016 - AVIDIN BLOCKING REAGENT - #10214
	BUF016 - BIOTIN BLOCKING REAGENT - #10290

ページ 1/15 KITJ / JP



-ト は以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2022-01-26

改訂番号 1

化学品及び会社情報

製品名 BUF016 - AVIDIN BLOCKING REAGENT - #10214

安全データシート 番号 10214

安全データシート の供給者の詳細

製造者 日本法人/連絡先住所 本社

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad 140-0002 1000 Alfred Nobel Drive **Endeavour House** 東京都品川区東品川2-2-24 Hercules, CA 94547 Langford Business Park 天王洲セントラルタワー20F USA

Kidlington バイオ・ラッド ラボラトリーズ Oxford

株式会社 OX5 1GE

United Kingdom

e-mail: antibody_safetydatasheets@bio-ra

d.com

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

Recommended use of the chemical and restrictions on use

推奨用途 研究用途のみ。 使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS <u>分類</u> 世界調和システム(GHS)による合除物有実性の物質でも、混合物でもない、区分に該当しない

世界調和ンステム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない	
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

<u>ラベル要素</u>

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

安全対策

・該当しない

応急措置

·該当しない

保管

該当しない

該当しない

他の危険有害性

軽度の皮膚刺激。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベント リ	化審法番号	安衛法インベント リ	安衛法番号
アジ化ナトリウム	26628-22-8	0.1 - 0.299	既存	(1)-482	既存	(1)-482

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) 該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 長期にわたり接触すると発赤及び刺激を引き起こすおそれがある

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること。

大規模火災 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人

用保護具を使用すること。 予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 **急時措置**

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

化学品の名称	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基 準 - 管理濃度	ACGIH TLV
アジ化ナトリウム 26628-22-8	-	-	Ceiling: 0.29 mg/m³ Sodium azide Ceiling: 0.11 ppm Hydrazoic acid vapor

供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性 物質を一切含んでいない。 生物学的職業性ばく露限界値

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。 眼、顔面の保護具

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 液体 色 変化する 臭い 情報なし 臭いのしきい値 情報なし

Property 融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性 <u>Values</u> データなし データなし -タなし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 爆発又は可燃の下限界 データなし 引火点 烈火点 蒸発速度 自然発火点 該当しない データなし データなし 分解温度 рΗ

粘度

動粘性率 データなし データなし 動的粘度 水に可溶 Water solubility データなし データなし 溶解度 n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧 データなし

密度及び/又は比重 相対密度 データなし 相対ガス密度 データなし 粒子特性

粒径 データなし データなし 粒径分布

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化特性 情報なし

10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

通常の条件下で安定。 化学的安定性

金属との接触を避けてください。この製品にはアジ化ナトリウムが含まれています。ブルナトリウムは、配管システムに含まれる銅、真ちゅう、鉛、およびはんだと反応して、爆発性化合物および毒性ガスを生成するおそれがあります。 危険有害反応可能性

備考 ・Method 情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし 情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし 情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

該当しない

該当しない

避けるべき条件 情報なし。 混触危険物質 金属。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

Numerical measures of toxicity - 製品情報

経口LD50 情報なし **吸入** LC50 情報なし **吸入** LC50 情報なし

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている ATEmix(経口) 27,000.00 mg/kg

化学品の名称	Oral LD50	経皮LD50	Inhalation LC50
アジ化ナトリウム	= 27 mg/kg (Rat)	= 20 mg/kg (Rabbit)	0.054 - 0.52 mg/L (Rat) 4 h

Abbreviations and acronyms

Rat: Rat Rabbit: Rabbit

症状 長期にわたり接触すると発赤及び刺激を引き起こすおそれがある

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

吸入 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。 軽度の皮膚刺激。

眼接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

化学品の名称	Algae/aquatic plants	Fish	Crustacea
アジ化ナトリウム	-	LC50: =0.7mg/L (96h, Lepomis	-
		macrochirus)	
		LC50: =0.8mg/L (96h,	
		Oncorhynchus mykiss)	
		LC50: =5.46mg/L (96h,	
		Pimephales promelas)	

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

情報なし。 残留性 分解性

生体蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 オゾン層への有害性

情報なし。 Other adverse effects

13. 廃棄上の注意

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 アジ化ナトリウムを含む溶液を金属性配管に廃棄する場合は、配管を頻繁に水で洗い流してくださ 残余廃棄物

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 規制対象外 <u>IATA</u>

15. **適用法令**

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) 該当しない

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と 労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

水道法

水道法第4条、法定水質基準

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 改訂日 改訂記録 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2022-01-26

この安全データシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ

い。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例凡例 項目8: ばく 露防止及び保護措置TWATWA(時間加重平均) 天井値 最大限界值 皮膚兆候 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ 源

Agency for Toxic Substances and Disease Registry (ATSDR) S. Environmental Protection Agency ChemView Database 欧州化学品局

European Food Safety Authority (EFSA) EPA (Environmental Protection Agency) Acute Exposure Guideline Level(s) (AEGL(s))

U.S. Environmental Protection Agency Federal Insecticide, Fungicide, and Rodenticide Act

U.S. Environmental Protection Agency High Production Volume Chemicals

Food Research Journal

Hazardous Substance Database

International Uniform Chemical Information Database (IUCLID)

Japan GHS Classification

Australia National Industrial Chemicals Notification and Assessment Scheme (NICNAS) NIOSH (National Institute for Occupational Safety and Health)

National Library of Medicine's ChemID Plus (NLM CIP)
National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)

National Toxicology Program (NTP)
New Zealand's Chemical Classification and Information Database (CCID)
Organization for Economic Co-operation and Development Environment, Health, and Safety Publications

Organization for Economic Co-operation and Development High Production Volume Chemicals Program

Organization for Economic Co-operation and Development Screening Information Data Set

World Health Organization

正見主場 このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



-ト は以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2022-01-26

改訂番号 2

化学品及び会社情報

製品名 BUF016 - BIOTIN BLOCKING REAGENT - #10290

安全データシート 番号 10290

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad 140-0002 1000 Alfred Nobel Drive **Endeavour House** 東京都品川区東品川2-2-24 Hercules, CA 94547 Langford Business Park 天王洲セントラルタワー20F USA Kidlington バイオ・ラッド ラボラトリーズ

Oxford OX5 1GE 株式会社

United Kingdom

e-mail: antibody_safetydatasheets@bio-ra

d.com

テクニカルサービス 03-6404-0331

フニノ(の)にしてそ吟物女宝性の物質でもほの物でもない 反八に訪せしない

life_ps_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

Recommended use of the chemical and restrictions on use

推奨用途 研究用途のみ。 使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS **分類**

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない	
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

安全対策

・該当しない

ページ 9/15 JGHS / JP

応急措置

・該当しない

保管

・該当しない 廃棄

・該当しない

他の危険有害性

軽度の皮膚刺激。

3. 組成及び成分情報

混合物 化学物質・混合物の区別

	化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベント リ	化審法番号	安衛法インベント リ	安衛法番号
ア	ジ化ナトリウム	26628-22-8	0.1 - 0.299	既存	(1)-482	既存	(1)-482

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 長期にわたり接触すると発赤及び刺激を引き起こすおそれがある

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。 適切な消火剤

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人 予防措置 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。

緊急対応を行う 者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

	化学品の名称	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基 準 - 管理濃度	ACGIH TLV
ſ	アジ化ナトリ ウム	-	-	Ceiling: 0.29 mg/m ³ Sodium azide
	26628-22-8			Ceiling: 0.11 ppm Hydrazoic acid
				vapor

供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性物質を一切含んでいない。 生物学的職業性ばく 露限界値

シャワー 設備対策

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

眼、顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

液体 物理状態 液体 色 変化する 臭い 情報なし 臭いのしきい値 情報なし

<u>Values</u> データなしデータなし データなし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 爆発又は可燃の下限界 データなし 該当しない 引火点 蒸発速度 自然発火点 データなし データなし 分解温度 一タ なし nΗ

粘度

動粘性率 データなし データなし 動的粘度 水に可溶 Water solubility データなし データなし 溶解度 n ーオクタノール/水分配係数(log値) データなし データなし 蒸気圧

密度及び/又は比重 相対密度

相対ガス密度 粒子特性 データなし データなし 粒径

データなし 粒径分布

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化特性 情報なし 備考 · Method

情報なし 情報なし 情報なし

情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし

情報なし 情報なし

情報なし 情報なし 情報なし

情報なし 情報なし

該当しない 該当しない

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

金属との接触を避けてください。 この製品にはアジ化ナトリウムが含まれています。 ご ジ化ナトリウムは、配管システムに含まれる銅、真ちゅう、鉛、およびはんだと反応して、爆発性化合物および毒性ガスを生成するおそれがあります。 危険有害反応可能性

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 金属。

提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物

データなし

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

Numerical measures of toxicity - 製品情報

経口LD50 情報なし **経皮**LD50 情報なし **吸入** LC50 情報なし **吸入** LC50 情報なし

以下の値はGHS文書の第3.1章**に基づいて算出されている ATEmix(経口)** 27,000.00 mg/kg

化学品の名称	Oral LD50	経皮LD50	Inhalation LC50
アジ化ナトリ ウム	= 27 mg/kg (Rat)	= 20 mg/kg (Rabbit)	0.054 - 0.52 mg/L (Rat) 4 h

Abbreviations and acronyms

Rat: Rat Rabbit: Rabbit

症状 長期にわたり接触すると発赤及び刺激を引き起こすおそれがある

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。 **吸入**
この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。 軽度の皮膚刺激。

眼接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

化学品の名称	Algae/aquatic plants	Fish	Crustacea
アジ化ナトリウム	-	LC50: =0.7mg/L (96h, Lepomis	-
		macrochirus)	
		LC50: =0.8mg/L (96h,	
		Oncorhynchus mykiss)	
		LC50: =5.46mg/L (96h,	
		Pimephales promelas)	

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

情報なし。 残留性. 分解性

生体蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

Other adverse effects 情報なし。

13. **廃棄上の注意**

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 アジ化ナトリウムを含む溶液を金属性配管に廃棄する場合は、配管を頻繁に水で洗い流してくださ 残余廃棄物

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. **輸送上の注意**

規制対象外 **IMDG** 規制対象外 <u>ADR</u> <u>IATA</u> 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

放当しない **労働基準法**

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と 労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

水道法

水道法第4条、法定水質基準

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

改訂日 改訂記録 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

この安全データシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

<u>凡例 項目8: ばく 露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均)

皮膚兆候

天井値

最大限界值 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源 Agency for Toxic Substances and Disease Registry (ATSDR) U.S. Environmental Protection Agency ChemView Database

European Food Safety Authority (EFSA) EPA (Environmental Protection Agency)

Acute Exposure Guideline Level(s) (AEGL(s))

U.S. Environmental Protection Agency Federal Insecticide, Fungicide, and Rodenticide Act

U.S. Environmental Protection Agency High Production Volume Chemicals

Food Research Journal

Hazardous Substance Database

International Uniform Chemical Information Database (IUCLID)

Japan GHS Classification

Australia National Industrial Chemicals Notification and Assessment Scheme (NICNAS)

NIOSH (National Institute for Occupational Safety and Health)
National Library of Medicine's ChemID Plus (NLM CIP)
National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)
National Toxicology Program (NTP)

New Zealand's Chemical Classification and Information Database (CCID)

Organization for Economic Co-operation and Development Environment, Health, and Safety Publications Organization for Economic Co-operation and Development High Production Volume Chemicals Program

Organization for Economic Co-operation and Development Screening Information Data Set

World Health Organization

兄夏季児 このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり